

2022年2月9日

## 第60回関西財界セミナー 主催者声明

我が国は、感染症対策と経済活動の両立という喫緊の課題に加え、低い成長率・長引くデフレ・デジタル化の遅れなど、コロナ禍以前からさまざまな構造的課題を抱えている。

これら課題の解決を先送りしているばかりでは、我が国の衰退は避けられない。いまこそ改革を進め、それをもって攻勢に転じる絶好の機会としなければならない。

世界もまた、気候変動・環境破壊・貧困・人権・社会の分断など数多くの問題に直面しているが、これらの解決に正面から取り組み、明るい未来社会の展望を拓くことは、今を生きる我々に課せられた使命であろう。

2025年大阪・関西万博の開催地である関西は、「いのち輝く未来社会」の実現に向け、他に先駆けてグローバルな課題解決を主導するとともに、万博を一過性のものに終わらせず、我が国の持続的な発展のスプリングボードとしていかななくてはならない。

本セミナーのメインテーマ『関西を起点に反転へ ～フロンティアに立つ覚悟～』を胸に、関西経済人は次のことに取り組む。

- 2025年大阪・関西万博にて、多様なプレイヤーの参画のもと、イノベーションの創出・社会実装を加速する「未来社会の実験場」を実現する。また、万博をその後の関西、ひいては我が国の持続的発展につなげられるよう、万博のレガシーについての議論・検討を早期に本格化させる。
- さまざまなグローバルリスクに柔軟に対応するために、平時からの備えを含めてレジリエンスを強化するとともに、新たな技術・サービスの開発等、リスクをチャンスに変える事業活動に果敢に挑む。なかでも気候変動に関しては、企業の枠を超えて有機的に連携し、2050年カーボンニュートラル達成に向け、積極的に取り組む。
- 起きつつある変化を捉え、企業発展の源泉は人であるとの認識に立ち返り、一人ひとりのやりがい・働きがいと企業の成長が調和し、多様な人材がいきいきと活躍する関西の実現を目指す。
- 三方よしの理念に沿ったマルチステークホルダーへの貢献に取り組むとともに、高付加価値経営へのシフトにより成長と分配の好循環を実現し、日本経済の新たな発展モデルを構築する。

以上